

JP62108810U**Publication number:** JP62108810U**Publication date:** 1987-07-11**Inventor:****Applicant:****Classification:****- International:** *G01B11/00; G01D5/36; G01B11/00; G01D5/26; (IPC1-7): G01D5/36; G01B11/00***- european:****Application number:** JP19850201414U 19851226**Priority number(s):** JP19850201414U 19851226**Also published as:**

JP4021071Y (Y)

Report a data error here

Abstract not available for JP62108810U

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭62-1088

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)7月

G 01 D 5/36
G 01 B 11/00Q-7905-2F
F-7625-2F

審査請求 未請求 (全2)

⑮ 考案の名称 光学式変位検出装置

⑯ 実 願 昭60-201414

⑰ 出 願 昭60(1985)12月26日

⑱ 考 案 者 印 牧 徳 治 宇都宮市清原工業団地24 株式会社三豊製作所清原工
 ⑲ 出 願 人 株式会社 三豊製作所 東京都港区芝5丁目33番7号
 ⑳ 代 理 人 弁理士 高 矢 諭 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 光学格子が設けられたメインスケールと、対応光学格子が設けられたインデックススケールと、これら両スケールを光照射する発光器と、該両スケールからの反射光又は透過光を受けて光電変換する受光器と、該受光器の出力信号を処理して得たパルス信号を測定値として計数する可逆カウンタと、該パルス信号を評価して両スケールの相対移動速度が設定値を超えたことを検出するオーバースピード検出器とを備えた光学式変位検出装置において、

前記メインスケール側に設けられた複数の原点表示マークと、

該原点表示マークを識別するための、前記インデックススケール側に設けられたマーク検出器と、

該マーク検出器から原点表示マークを識別する毎に発せられる識別信号で、前記可逆カウンタの当該計数値又は相当値を記憶する記憶素子と、

前記オーバースピード検出器が作動した直後の原点表示マーク相当の該識別信号をもつて、前記可逆カウンタの当該計数値を、前記オーバースピード検出器が作動する直前の原点表示マーク相当識別信号で該記憶素子に記憶されている当該計数値に、該直前及び直後の原点表示マーク間の間隔相当値を加えた値又は相当値に補

の原点表示マーク通過時に吸収するようにしたことを特徴とする光学式変位検出装置

(2) 前記原点表示マーク及びマーク検出器が記原点表示マークの中から予め選択した絶点表示マークを通過した時に、測定値を絶点に強制的に補正するための絶対原点検出と共用されている実用新案登録請求の範囲項記載の光学式変位検出装置。

(3) 前記記憶素子が、前記絶対原点表示マークらの原点表示マーク通過回数を記憶し、前正回路が、前記可逆カウンタの当該計数値当該原点表示マーク通過回数に原点表示マーク間の所定間隔を乗じた値に強制的に補正するようにされている実用新案登録請求の範囲項記載の光学式変位検出装置。

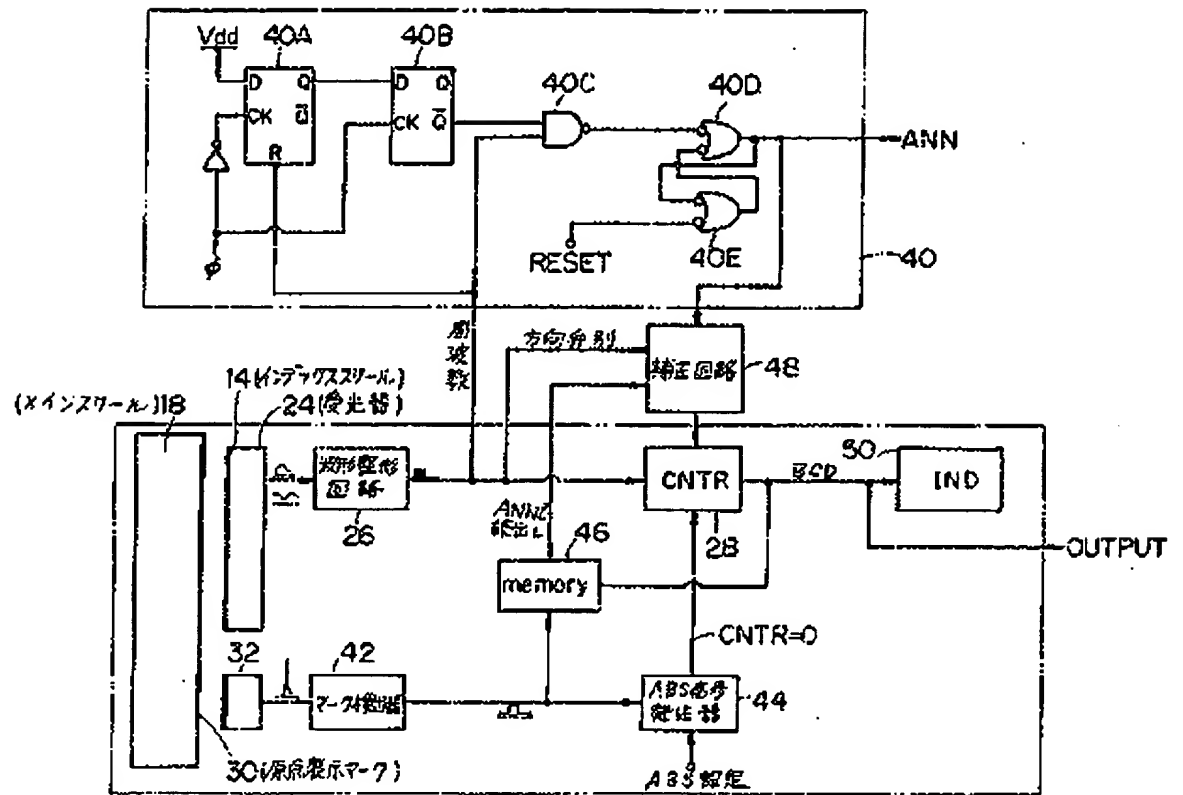
図面の簡単な説明

第1図は、本考案に係る光学式変位検出装置実施例の構成を示すブロック線図、第2図は、従来の光学式変位検出装置の測定原理を示す図、第3図A、Bは、従来の光学式変位検出で用いられている絶対原点検出機構を示す、ールの正面図である。

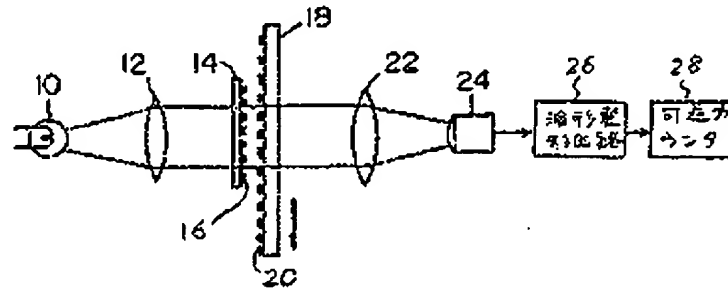
10……発光器、14……インデックススケール、16、20……光学格子、18……メインスケール、24……受光器、28……可逆カウンタ、30……原点表示マーク、40……オーバースピード検出器、42……マーク検出器、44……

実開 昭62-108810(2)

第1図



第2図



第3図

